

市民還元事業検証結果のとりまとめについて

市民還元事業の検証結果及び今後のあり方については、以下の骨子（案）でとりまとめを行う予定です。それぞれの項目にかかるとりまとめの方向性について、委員の皆さまからご意見をいただきます。

とりまとめ骨子（案）

- 1 市民還元事業検証にあたっての基本的な考え方
 - (1) 有料指定袋の価格
 - (2) 手数料収益を市民還元する分野
- 2 今後の市民還元事業のあり方
 - (1) 既存事業について
 - (2) 手数料収入をごみ処理施設の経費にあてることについて
 - (3) 手数料収入の基金運用について
 - (4) 有料化財源を活用する新たな施策について
 - (5) 市民への情報発信について

1 市民還元事業検証にあたっての基本的な考え方

(1) 有料指定袋の価格

ア 【現状】

- 市民、市議会からの意見
市民還元事業のうち、一般財源で行うべき事業があり、その分の有料指定袋の価格を下げるべきとの意見などがある。
- 新ごみ減量制度の成果と現在のごみ量の推移
家庭系ごみ量の3割削減とリサイクル率の上昇など大きな成果を挙げており、現在も減量効果が維持されている。

イ 【方向性】

新ごみ減量制度の成果と現在のごみ量の推移などを踏まえ、当面は現状（1L＝1円）を維持する。

(2) 手数料収益を市民還元する分野

ア 【現状】

- 3つの分野（資源循環型社会促進策、地球温暖化対策、地域コミュニティ活動の振興）に市民還元する考え方及び市民検討会議を設置して透明性を図ることは、当審議会の答申を踏まえたものである。
- 市民還元事業については市民検討会議のなかで協議し、ご意見をいただいたうえで進めている。

イ 【方向性】

現状の3つの分野を基本とし、市民還元事業を実施する。

2 今後の市民還元事業のあり方

(1) 既存事業について

ア 【現状】

- 市民還元事業を所管している部署による事業の検証を事務局で評価、4つの区分に分類し、市民検討会議から意見を得た。

イ 【方向性】

市民検討会議、清掃審議会に検証結果を報告し、そこでの意見及びアンケートの結果を踏まえてとりまとめる。

(2) 手数料収入を廃棄物の新たな利活用を図る処理施設の経費にあてることについて

ア 【現状】

- 手数料収入は、拠点回収した古布・古着、収集した枝葉・草を利活用するための処理委託経費にあてており、ごみ減量・リサイクルが促進されている。
- ごみ減量・リサイクルを推進する施設の運営管理費には活用していない。

イ 【方向性】

清掃審議会からの意見及び市民アンケートの結果を踏まえてとりまとめる。

(3) 手数料収入の基金運用について

ア 【現状】

- 手数料収入の市民還元は、ここ数年収入が支出を上回っている現状であり、その解消方法のひとつとして基金による運用が考えられる。

イ 【方向性】

清掃審議会からの意見及び市民アンケートの結果を踏まえてとりまとめる。

(4) 有料化財源を活用する新たな施策について

ア 【現状】

- 新たに実施すべき事業として、「ごみ減量・リサイクルに関する調査・研究」などが挙げられている。

イ 【方向性】

清掃審議会からの意見及び市民アンケートの結果を踏まえてとりまとめる。

(5) 市民への情報発信について

ア 【現状】

- 有料化財源の活用に関して、市HPやサイチョプレス、ごみダイエット読本、清掃事業概要などに情報を掲載している。

イ 【方向性】

清掃審議会からの意見及び市民アンケートの結果を踏まえてとりまとめる。